本時案（第三次　第１時）

|  |  |
| --- | --- |
| 目標 | ・物語を音読発表会で表現することに興味を持ち，意欲的に取り組もうとしている。（主） |
| 学習活動 | 教師の支援・留意点 | 評価基準・評価方法 |
| １　本時の学習課題を知る。２　評価基準の確認をする。３　場面と役割を分担する。４　練習する。５　Chromebookで録画しクラスルームに保存する。６　本時のまとめをし、次時の見通しを持つ。 | ◯前時までのニャーゴの内容から、場面と人物の行動や気持ちについて振り返る。・学習発表会などで発表できるよう、音読劇の練習をすることを伝える。めあて：　音読はっぴょう会にむけて、場面をそうぞうできるはっぴょうのれんしゅうをしよう。◯評価基準のルーブリックを基に、読み方と場面の想像の観点を伝える。◯教員が音読劇をしたビデオを見て、評価基準についての理解を深める。◯「ニャーゴ」のセリフがある３つの場面の音読劇をすることを伝え、グループ分けをする。◯ねこ、ねずみ（３匹）の役割分担をする。◯音読劇の練習をする。・場面から登場人物の行動や気持ちを想像して演技をするよう伝える。◯グループごとに発表を録画し、クラスルームに保存する。・次回の授業のはじめに紹介することを伝える。まとめ：音読はっぴょう会では、場面からとうじょう人ぶつの行どうや気もちをそうぞうし、やくになりきってはっぴょうをしよう。◯教員のビデオを再度見て、場面を想像して発表することを伝える。・次回音読劇の発表会をすることを伝える。 | 物語を音読発表会で表現することに興味を持ち，意欲的に取り組もうとしている。・主：観察 |

場面読みのルーブリック

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価 | 読みかた | そうぞう |
| ◎ | とうじょう人ぶつになりきってはっぴょうしている。 | 場面から，とうじょう人ぶつの行どうや気もちを想像し，音読に活かそうとしている。 |
| ◯ | ことばのまとまりやひびきに気をつけてはっぴょうしている。 | 場面から，とうじょう人ぶつの行どうや気もちを想像している。 |
| △ | 声が聞こえない。 | 場面から，とうじょう人ぶつの行どうや気もちを想像していない。 |